

主の御名を賛美します。

『わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。』
(詩篇 103:2)

いつも石巻宣教のためのご支援とお祈りを戴き、心から感謝いたします。

連日TVから流れる集中豪雨被災地のニュースに、石巻の方々は9年前の惨状を重ねて心を痛めておられます。

豪雨災害に加えて暑さとコロナ感染が追い打ちをかける中での復旧工事に神様の助けがありますように。

緊急事態宣言が解除され、ホッとする間もなく、ここ宮城でも感染が日々増加してきています。

このような中、緊急事態宣言発令から今に至るまで、この小さな石巻教会の礼拝が守られていることは、只々主



【お茶っこ会のメンバーさんが下さったパイナップルリリー】

のあわれみであります。改めて、諸教会の皆様の篤いお祈りに感謝申し上げます。

6月からは月二回(第一と第三金曜日)の「お茶っこ会」と、月一回の仙台教会支援による「クラフト教室」を感染予防対策をしながら再開しました。

お茶っこ会の再開は、みなさん心待ちにしておられたようで、いつものご近所の方々が十数名、笑顔で集われています。少しずつ、教会が地域に受け入れられていることを感じ、私たちも励まされています。また、クラフト教室には、女川の方10名、牡鹿半島の方2名、さらに新しくご近所の方が5名、加えられました。ご近所の皆さんはパッチワークもキルトも初めての方々で、時間内には終わらず、宿題を仕上げるために、別の日に教会に集まり、マスク越しのおしゃべりを楽しみながらチクチク手を動かしています。皆さん教会のご近所さんで、気軽に教会に来ていただける機会となり、神様に感謝しています。さらに、牡鹿半島からのお二人は一昨年から参加されている SEND 国際宣教団の藤嶋師夫人と小淵浜の方です。藤嶋師夫妻は2016年から牡鹿半島で宣教活動をされていますが、二期目の今年5月から当教会で共に礼拝を捧げることになりました。神様の不思議なお導きに感謝しています。

今までのようにコンサートや夏祭りなどの大勢の人々が集まる宣教活動が難しくなる中で、私たちは、礼拝はもちろん、「お茶っこ会」や「クラフト教室」、また訪問などを通して福音をお伝えしていきたいと願っています。さらに良き知恵が与えられるように、お祈りください。

「お茶っこ会」メンバーの最高齢者 93 歳の S さんは、地元渡波生まれの渡波育ち、長く町内会の会計などをされてきた方です。

文章を書くことがお好きで、広告の裏紙に日々の出来事を書き記すことを、日課としているのだそうです。

最近も戦後 75 年の節目にあたり、戦争中の体験を綴り、地元紙の河北新報の特集に投稿、採用されたと、お聞きしました。

そこで、「S さん、石巻教会を支援して下さる全国の教会に届けるニュースレターに載せたいのですが、お茶っこ会の感想を書いてくださいませんか？」とお願いしてみました。

すると三日後に、「郵便局に行くついでに寄りました」と笑顔で届けてくださいました。

S さんが初めて教会に来られたのは、2016 年 10 月の開設 2 周年記念コンサートです。

ポストに入ったチラシを見て、同居されている娘さんとご一緒に来られました。この時のコンサートチラシ配布には深い思い出があります。私たち二人は定期的にポスティングをしていたのですが、チラシの反応は全くなく、虚しさや疲れを覚えていました。その日、S さんの地区を配っていた主人も、神様にぶつぶつ言いながら配布していたそうです。ところが、S さん親子が来られ、開口一番に「教会に来てみたかったのですが、来ても良いものか分からなかった。今回チラシを届けてくださりありがとうございました。」とおっしゃったのです。私たち二人はその夜、悔い改めと感謝の祈りをしました。

その後は、娘さんとクリスマス礼拝、イブ礼拝そして、元旦礼拝のときにはお一人で 30 分の道を歩いて来られました。お茶っこ会はもちろん様々な集會に、ほぼ皆勤の S さんが書いてくださった文章を原文のまま掲載させていただきます。

『私は教会をはじめて訪ねたのが、平成 29 年元旦。❖ 教会が建設する前から公民館に色々のサークルに加入しているので、教会の前を月に十回位通っていた。❖ 教会とゆう所は特別な人達が行く所かと思っていた。そしたらある日チラシが配られたのを見たらどなたでもおいで下さいとあったので、思い切って一人で訪ねてみた。❖ でも車もぜんぜん見当たらない。でもピアノの音が聞こえているので中に入って見たら女の人二人と、すごくやさしそうな物静かな男の人(この男の人はあとで聞いたら牧師さん)なそう。もう一人の女の方は、奥さんなそう。それから男の人一人きて 5 人だけ。聖書の話しを聞いたりした。それからお茶と漬物、おしるこが出され御馳走になった。帰り、おやつ迄頂き(11 時 40 分頃)終わり、車で家まで送って戴いた。いたれりつくせりの待遇を受け恐縮した。❖ 二回目は(3 月 11 日)1 時から(橘明日香)さんとゆう人の希望のコンサートがあるのでお昼を食べて家の車で送ってもらった(40 番)とゆう札をもらった。中に入ったら知り合いの人達も大勢いたのでびっくりした。コンサート



S さんは奥の窓際の方です。

とゆうとこんなにも大勢集まるのかと思った。コンサートが終わり、お茶やお菓子が出されこんなに御馳走になっていいのかしらと思い、知り合いの人達に聞いたら、その人たちはずっと以前からこの教会に通っているとの事、私はチラシを見なければ全々知らなかった。✿そして家に帰り、今日はすばらしいコンサートがあったと娘に話したら、次私も行って見たいとゆうので、次は二人で参加した。そしたら今度は歌を歌ったりゲームをしたりしてすごくたのしかった。✿一日中サークルのない日は、テレビを見て新聞を読んだりして過ごしているので、教会に行くと色々な人達と逢って世けんの事も知る事が出来る。友達に話したら次私も連れて行ってとゆうので、次のお茶っこ会にさそって連れて行ったらすごく喜ばれた。✿それから何回か行っているうちに(祝田のほら丸さん)とゆう漫談家がきて色々とおもしろおかしく話しをするのでみんなで大笑いする事もある。✿とてもたのしい時間を過ごさせて戴く事もあるので、家にいると大人揃えてそんなに大笑いする事もない。教会に行くと聖書の話しも聞く事も出来る一石二鳥だ。最近は軽い体操をしたり、頭の体操をしたりする。みんな年配者の集まりなので何回やってもまちがったりして、大笑いする事もある。✿コロナ事件で4月3日金曜日のお茶っこ会から5月いっぱい休みて、6月19日お茶っこ会再開したら14人も集った。みんな久しぶりに逢ったけれど、元気で何よりだ。早くコロナウイルスが消えてなくなり(マスクなし)で外出する事が出来るようになったらみんなどんなにたのしいか、でも当分それは望めないみたい。一日も早くコロナウイルスがなくなる事を願いたいものです。 S. K.より 』

私たちの教会に集われている方々は、ご高齢の方が多いです。主は、ぶどう園のたとえのように、夕暮れ時に来られた方々も、「私はこの最後の人にも、あなたと同じだけ与えたいのです。(マタイ 20：14)」と、招いておられます。

どうぞ、いま私たちの前におられる尊い方々が救い主イエス・キリストを信じて、ともに御国に行く事が出来ますようにお祈りください。

【祈りの課題】

1. 主が、まことの神を求める方々を起こして下さり、礼拝につながりますように。
2. イエス・キリストを信じ、救われ、洗礼を受ける方が起こされますように。
3. 月二回、第一と第三金曜日の「お茶っこ会」と月一回の「クラフト教室」が、主に用いられますように。
4. 新型コロナウイルス感染から教会、地域の方々が守られますように。

☆石巻宣教支援会へのご支援と、お祈りを心から感謝します。